

ミャンマー-KOBE主催写真展
「本は世界の窓～全盲の私がタイで図書館を始めた理由～」を開催しました!
(2024年10月28日～11月8日)

タイで本を読む喜びを広げようとする全盲の女性、堀内佳美さんの活動を紹介する写真展をひょうご国際プラザ交流ギャラリーで開催し、11月5日には堀内さんによるセミナーも行いました。

幼い頃から家族による絵本の読み聞かせや点字本で読書に親しみ、自分の世界を広げてきた堀内さん。高校生で国際協力に興味を持ち、大学時代にはタイ人の友人との出会いからタイ語の心地よい響きに魅了され、タイ留学も経験。その際タイでは、本は非常に高価で、人々は読書=勉強という堅いイメージを持っており、読書を楽しむ環境が整っておらず、タイ語を話せない少数民族の子ども達は小学校で勉強についていけず落ちこぼれてしまう等、様々な課題があることを知りました。幼少期から自身の障害が原因で周りの役に立てないことが苦しく、「自分にも何かできることがあるはず」との想いを抱き続けていた堀内さんは、首都バンコク周辺で絵本の読み聞かせから始動。2010年に非営利活動法人「アークどこでも本読み隊」を設立し、現在はタイ

北部で図書館運営や、障害者や高齢者の家庭を巡る訪問図書館、山岳民族の子ども達の教育支援などに取り組んでいます。「目が見えなかったからこそ、こんなに面白い人生を歩めている」という堀内さんの姿に、多くの学びや力をいただきました。



「タイの子ども達を身近に感じてもらえるように」と、写真約50点にキャプションをつけた堀内さん。

テーマは「出会い」

ひょうご国際プラザ所蔵の書籍を紹介します。



ロバのスーコと旅をする

(高田晃太郎著 / 河出書房新社)

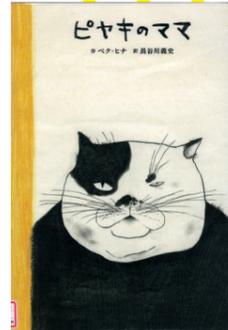
大好きなロバと出会い、なかなか進まないながらも一緒に世界をめぐる。行く先々でも、いろいろな出会いがあった。



WE HAVE A DREAM: 201か国202人の夢×SDGs

(WORLD DREAM PROJECT編 / いろは出版)

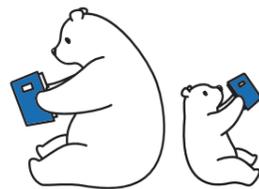
インターネットを通じ、世界中へ広まった平和への想い。たくさんの出会いとみんなの夢が詰まっている1冊です。



ピヤキのママ

(ベク・ヒナ作 / 長谷川義史訳 / プロンズ新社)

やっかいもののねこ、ニャンイと出会ってしまったうまれたのたまご。あーっ、まるのみにされちゃった。だけどようすがおかしいぞ。



ひょうご国際プラザ

ひょうご国際プラザでは、毎月テーマを決めて特別コーナーを設置しています。お楽しみに!

開館時間等の詳細はこちら▶



HIAからのお知らせ 広報紙「ComeHIA」は109号をもって終了いたします。令和7年度よりリニューアルして年1回広報紙を発行予定です。



国際交流イベント等の最新情報を配信中!
Come HIA & Join us!

ひょうご国際交流メールマガジン

日本語配信(登録無料)▶



情報の一部を多言語でHPに掲載中▶



Facebook Like us on Facebook▶



2025.3 vol.109 [カムヒア] Come HIA
HYOGO INTERNATIONAL ASSOCIATION

HIAは地域での国際交流を推進しています!

パリ Hainan 海南島 Hong Kong 香港 西オーストラリア州 Hyogo 兵庫 ハバロフスク地方 ワシントン州 バラナ州



ur field, ur DGs
ちのフィールド、ちのSDGs

ひょうごフィールドハシリオン hyogo.jp

兵庫、ま... 1コのパ...

「持続可能」の...



【発行・問合せ】(公財)兵庫県国際交流協会

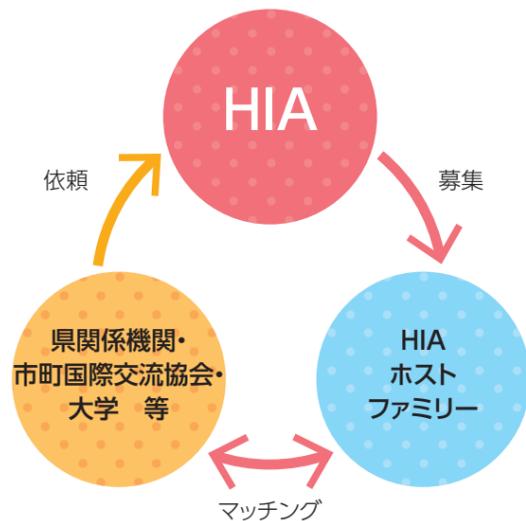
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 国際健康開発センター2F TEL 078-230-3260 URL https://www.hyogo-ip.or.jp Hyogo International Association 2F, IHD Center, 1-5-1 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe 651-0073



HIAは地域での国際交流を推進しています!

HIAでは、県民の国際交流活動の活性化と異文化理解の促進を図るとともに、兵庫県の魅力を外国の方に知ってもらうためホームステイ事業を行っています。主に県の関係機関や市町国際交流協会、県内の大学等からの依頼を受け、ホームステイ受入についてマッチングなどの総合コーディネートを行います。そしてこのホームステイ事業を支えているのが、ビジターを受け入れてくださるHIAボランティアホストファミリーです。

2024年12月現在、兵庫県内の61家庭にご登録いただいています。小さいお子さんがいる家庭やご夫婦だけの家庭など、家族構成や年齢層はさまざまですが、どのご家庭もビジターをあたたく受け入れたいという気持ちでご登録いただいています。



ビジター受け入れにあたって

心構え

- 外国語はできなくても大丈夫です。ボディランゲージにもトライしてみましょう!
- ビジターはお客様ではないので、普段通りリラックスして家族の一員として迎えてあげましょう!



家に迎えるとき

- 家のルールがある場合はホームステイ初日に伝えてあげましょう。言葉に問題がある場合、ジェスチャーや翻訳アプリなどで教えてあげてください。
- その他にも、玄関では靴を脱ぐことやお風呂の使い方、電車の乗り方など必要に応じて教えてあげてください。



食事



- 普段どおりの食事で大丈夫です。ただし、宗教上食べられないものがあつたり、アレルギーがある場合やベジタリアンのビジターもいます。事前にビジター情報を共有しますが、何が食べられないか本人にも確認をお願いします。

宗教上食べられないもの
 イスラム教…豚肉、豚肉を材料に含むもの(ソーセージ、ハム、豚エキスを使用した調味料)、アルコールなど

オックスブリッジ英語サマーキャンプ

参加学生のホームステイ

イギリスのオックスフォード大学とケンブリッジ大学の学生を兵庫県内の学校などに派遣し、英会話の授業や交流イベントなどの国際交流を行うプログラムです。今年度は3名をお迎えし、ホームステイファミリーに受け入れていただきました。



左からEmmaさん、Danさん、Annaさん

HIAでの大学生向けイベント



HIAボランティアホストファミリー登録方法
 HIAではホストファミリーを常時募集しています。登録には兵庫県内に住所を有していること等の要件がありますので、詳しくは当協会ホームページからご確認ください。

ホストファミリー紹介

2024年度オックスブリッジ英語サマーキャンプでホームステイ受け入れをしてくださった2つの家庭へのインタビューをご紹介します。



Emmaさん受け入れホストファミリー

Q ホストファミリーに登録したきっかけを教えてください。

A 長男がカナダに留学した時、ホストファミリーの方が我が子のように接して下さり感銘を受けました。それがきっかけで、恩返しをしたいと思い登録しました。

Q ビジターとどんなことをして過ごしましたか?

A 温泉やお寺、ショッピングへ行きました。外食も1~2回しましたが、ほとんどお家で食事をとりました。また、子どもの友人たちとビーチへ泳ぎにいったりもしていました。

Q 今回の受け入れにあたり気を付けたことはありますか?

A 炎暑の8月ということもあり、心配したのはEmmaさんの健康管理でした。エアコン・寝具・飲物には通常より気を付けました。

Q これまでの受け入れ経験から、心掛けていることはありますか?

A ①食事
 プロフィールに記載されているアレルギー・ベジタリアン・ハラール・好き嫌いの有無を知っておき、期間中の食事メニューをだいたい決めておくことです。なるべく好きな食事を提供したいので。
 ②コミュニケーションのとり方
 お互いの気持ちが通じないと思われる時は翻訳機(ポケットク)・Google翻訳の準備をしています。
 ③相手の国に関心を持つこと
 お互いの文化・食事・娯楽・習慣などを伝え合う。(これまで、おり紙・たこ焼き作り・ゆかたの着付け・抹茶体験・カラオケは喜ばれました。)



Danさん受け入れホストファミリー

Q ホストファミリーに申し込んだきっかけを教えてください。

A 子供たちが英会話を習っているのでも、英語を使う機会があればいいなと思い申し込みました。

Q ビジターとのコミュニケーションはどうしましたか?

A 英語と少しの日本語で会話をしました。スマートフォンの翻訳機能をお互いに駆使しました。

Q ビジターとどんなことをして過ごしましたか?

A 近所のお寺へ行ったり、Danさんと子どもたちの共通の趣味であるテレビゲームをして過ごしました。また、ケーキと一緒に作り楽しい思い出ができました。

Q 食事はどのようにしましたか?

A 家で作った焼きそばをみんなで食べたり、手巻き寿司パーティーをしました。Danさんは作ったものはなんでもよく食べてくれました。

Q 今回、初めてホームステイ受け入れをされて、感じたことや変わったことはありましたか?

A とても楽しかったので、子どもたちはまたDanさんに会いたいと言っています。Danさんが来られたことで、近所のお寺に我が家も初めて行ったのもいい思い出です。相手のことを知りたい、こちらのことを伝えたい、わかりあいたいという気持ちと、スマートフォンがあれば、英語が得意でなくても十分なコミュニケーションが取れるなど感じました。



NEW 「国際交流・多文化共生の担い手育成助成事業」を利用した事業

市町の国際交流団体等で構成するひょうご国際交流団体連絡協議会では、国際交流の発展や多文化共生社会づくりを目指して事業を実施していますが、次世代を担う人材の育成をサポートするため、2024年度から構成団体が主催するイベントや研修会に対する助成事業を始めました。

事例紹介 子ども国際交流キャンプ

高砂市国際交流協会と播磨町国際交流協会が合同で、子どもを対象としたキャンプを実施しました。参加者たちは、子どもやALT(外国語指導助手)等が混ざったグループに分かれ、協会ボランティアのサポートを受けながら、一緒に飯盒炊飯や英語のゲーム、フィールドアスレチック等を行い、絆を深めました。自然の中で年齢や地域を超え、一緒にキャンプを楽しむことでお互いの文化を理解し、受入れ、交流するきっかけとなりました。こういった活動を通じて、これからの多文化共生社会を支える担い手の方が増えていくことを期待しています。



高砂市と播磨町の国際交流協会が合同で実施した子ども国際交流キャンプの様子

みんなで楽しくゲームをしました!

多文化共生の窓

先生が日本での生活に必要な学びを提供します

日常生活から学ぶ「すぐに役立つ日本語講座」

2024年9月5日から10月2日まで「すぐに役立つ日本語講座」を実施し、外国人県民のみなさんに、日常生活でよく使う日本語を学んでいただきました。ここで目指しているのは日本語の上達だけではなく、スーパーでの買い物や、病院での受診が自分でできると安心や自信に繋がり、ゴミ出しや交通ルール、役所の書類の書き方を学ぶと生活の不自由さが軽減されます。おすすめの場所を聞いたり、発信できると生活に楽しみが増えますし、災害時の避難方法を知れば、自分自身や大切な人の命を守ることができます。

この講座では、そうした生活に密着したテーマ設定で楽しみながら学習します。また、地域の教室で学習支援に携わる人、これから支援をしてみたい人、大学生など様々な立場の人が共に参加し、交流することにより、日本語レベルに違いがある学習者の学びをサポートするという、重要な役割を果たしています。

日本語学習の入り口であり、日本社会の入り口でもある講座に今後もご注目ください。



サポーターさんと共に学びます

学びから、即実践!

楽しく学んで交流

メニューなど詳しくは #instagram 

外国人県民のチャレンジを応援「まんまるカフェ」

明石市を拠点に在住外国人の支援活動をしているNPO法人多文化センターまんまるあかしが、2024年夏に市内で移転し、従来の日本語教室のほか多国籍・多世代が集えるフリースペースや多国籍料理のお店「まんまるカフェ」を併設した新たな取り組みを始めました。カフェでは外国人県民が運営の中心となり、ワールドワイドなアイデアを出して考案された各国料理を日替りで楽しむことができます。

同NPOは2015年から在住外国人支援活動を始め、当協会の「外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業」助成金を活用して実施する日本語教室等のほか、地域住民向けにも様々な多文化理解促進イベントを開催しています。加えて、外国人県民が地域交流を進めるために挑戦し、活躍できる場所を作るとともに、地域住民に世界の食文化にふれる機会を提供したいと考え、新拠点の開設を決めたそうです。

お店のある建物では日本語教室と学習支援教室が開かれており、外国ルーツの子どもたちが通っています。生き生きと働く大人の姿を身近に見ることによって、子どもたちが未来に希望を持てるようにしたい、と理事長の久保さんは話しています。

「誰もがチャレンジできて、誰もが活躍できる場所」まんまるカフェで世界の料理を味わってみませんか?



料理上手なスタッフのみなさん

日替わりメニューのひとつウズベキスタン料理

フリースペースには教材や絵本もたくさんあります

多国籍料理が味わえるまんまるカフェ

訪日教育旅行 SHOW CASE

対面交流が増えています!

オンラインツールを活用した学校交流は引き続き活発におこなわれていますが、最近では実際に対面しての交流が熱い状況になっています。特に韓国、台湾、中国、香港など身近なアジア圏の国や地域からの訪問が多くなっています。似ているようで違う、児童・生徒のみなさんはその魅力にたっぷりと触れています。交流を通じて実践的な言語力が身につくのはもちろんですが、異文化への理解と認識を深めることは豊かな人間形成につながります。今回はそんな交流を紹介します。

韓国大邱市のデピョン中学校が育英高等学校を訪れ、伝統舞踊を披露しました。力強い打楽器の演奏に高校生も挑戦するなどして交流を深めました。



台湾嘉義市立北園國民中學が西宮市立浜脇中学校を訪れ、加古川市立の三つの中学校(加古川・平岡・中部)とともにバレーボールの交流をおこないました。



和気あいあいの雰囲気の中、日本と台湾の練習方法の違いに驚いていました。

草の根 国際交流・協力

News

夏の猛暑もようやく一段落した2024年10月26日、毎年恒例の「JICA関西秋祭り2024」がJICA関西センターで行われ、HIAも次の3つのイベントを実施しました。

News
1

ふれあいコンサート『観て聴いてトルコの魅力を体験しよう』

日本トルコ外交関係樹立100周年を記念して、トルコから土日基金音楽訪問団が来日しふれあいコンサートを行いました。会場には150名余の方が集まる大盛況で、名古屋からトルコ総領事も駆けつけられ、お祝いのメッセージをいただきました。

オープニングでは、神戸市立渚中学校吹奏楽部が登場し、日本で人気の曲を演奏しました。どれもよく耳にする曲で、中学生とは思えない迫力ある演奏で会場は一気に盛り上がりました。

続いて、トルコの音楽訪問団による伝統音楽の演奏・合唱とダンスが行われました。民族楽器が奏でる独特な旋律や合唱、ダンスは、異国情緒あふれるトルコの風景に会場の皆さんを誘ってくれました。

最後は、来場者も参加し、トルコのフォークダンスを体験しました。音楽を通じてトルコの人たち、コンサートに集まった多くの人たち、そして次世代を担う若い人たちと一緒にふれあいの時間を楽しむことができました。

※土日基金は、1999年のトルコで発生した大地震の際に兵庫県民から寄せられた義援金を原資とする「ひょうごトルコ友愛基金」を管理している財団で、日本とトルコの交流活動の促進にも取り組んでいます。



トルコふれあいフォークダンスの様子

News
2

2024年度国際協力入門セミナー (第2回目)



対面セミナーの様子

2024年度国際協力入門セミナー「自分流で世界と繋がる～いつでも、だれでも、どこでも～」をJICA関西、大学コンソーシアムひょうご神戸、当協会の3機関連携事業として実施しました。

今年度のセミナーは2回シリーズで、第1回目は9月27日にオンラインで開催され、大学生を中心とした約100名の方に参加いただきました。第2回目は第1回のセミナーを受けて、「今日から実行できる“世界と繋がる”活動」をテーマに対面で行いました。参加者はリソースパーソンから投げかけられた課題について、各グループで話し合いながら解決策を考えました。どのグループも活発な議論がなされ、話し合いの後には、今日から実行する「世界につながる活動宣言」を各自発表しました。語学力だけでなく、勇気を持ち一歩前に踏み出すことの大切さを学ぶ場になりました。

News
3

「SDGs多文化理解ゲーム」 ブース出展



ブースでのゲーム実施の様子

初の試みとして大学生による出展も行われました。今回は、兵庫県立大学学生団体「SDGs POST」が、多文化理解を目指したオリジナルゲーム「キミシル」を使って体験会をしました。自己紹介や会話を通して、その人があらかじめ決められた複数の項目の中から何を優先するかを類推してもらうゲームで、相手の話をよく聞き、その人の気持ちになって考えることが求められます。大学生がホスト役となり親子連れや高校生など約30人がゲームに参加しました。類推した答えが外れることもあり、相手を理解することの楽しさや難しさが体験できたようです。また、相手に理解してもらうためのコミュニケーションの大切さは、スタッフの学生、参加者双方が実感したことでしょう。兵庫県国際交流協会では、このような大学生が主催する連携事業をさらに続けていきたいと考えています。



海外事務所だより

HIAが運営する3つの海外事務所を紹介します

兵庫県の海外事務所を3か所運営しています。経済交流や観光PRを中心に、文化・教育など多彩な交流活動を行っています。

兵庫県ワシントン州事務所

シアトル近郊のベルビュー市で開催された「ジャパン・ウィーク」にブース出展し、ひょうごフィールドパビリオンや観光のPRを行いました。特に神戸ビーフや兵庫の酒、淡路島のニジゲンノモリなどが好評で、参加者から次回旅行する際に訪れたいとの声が寄せられました。



ブースには「はばタン」も登場

兵庫県パリ事務所

ドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州首相の兵庫県訪問の調整や、水素ビジネスに携わる県内企業の展示会出展支援のほか、トルコとの防災交流をサポート。友好提携先フランス・アヴェロン県のミヨー橋開通20周年記念ランニングイベントにもパリ事務所長が参加しました。



欧州一高いミヨー橋を見上げてランニング

兵庫県香港経済交流事務所

台湾最大規模の旅行博覧会「台北国際旅行博」に出展し、姫路観光コンベンションビューローや新温泉町と連携した兵庫連携ブースとして、兵庫県の多彩な魅力を発信する観光プロモーションを行いました。



3小間に拡充した兵庫連携ブース

みて! よんで! 国際交流員

ひょうご国際交流キャラバン 「国際交流員と学ぶ世界の文化」



2024年10月26日、淡路市国際交流協会主催のイベントに、兵庫県の国際交流員3名が参加しました。今回は親子で楽しめるアクティビティを用意し、各国の文化や言葉を楽しんでいただきました。

アメリカ出身のイーサンさんは、英語の歌を使いながら身体の部位に関する単語を学ぶ活動を、中国出身のリカさんは中国語の数字や色を交えた当てゲームを行いました。また、韓国出身のコさんは、韓国語で名前を書くクラフト体験を実施しました。今回のイベントは、子どもたちが遊びを通じて異文化に触れ、多様性を身近に感じる貴重な機会となりました。国際交流員は県内市町協会のイベントに参加しますので、ぜひ一緒に異文化体験をしましょう!

ひょうご国際交流キャラバンプロジェクトとは?
ひょうご国際交流団体連絡協議会の構成団体からの要望があれば、兵庫県の国際交流員(CIR)が県内各地で一緒に異文化交流イベントを行います。市町・協会の方はぜひご活用ください!

詳細はこちらから



アメリカ 身体を使ったゲーム



中国 色の当てゲーム



韓国 ハングル体験